

ち おらん家のランチ

～家庭生活での生きる力を高めるための支援～

川西高等特別支援学校 松原 和子

単元のねらい

- ① 冷蔵庫にある材料で、工夫した献立を考えることができる。
- ② インターネットを使い、栄養バランスのとれた料理方法を選ぶことができる。
- ③ レシピを見て、実際に調理できる。



<主体的な学び>

- 食生活をより豊かにするために、基本的な知識や技能を学ぶだけでなく、自ら考えて調理しようとする実践力を育てる。
- インターネットを活用することにより、手軽に調理のヒントが得られ、作ってみようという意欲が出る。



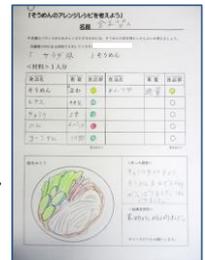
<対話的な学び>

- 二人一組で考えを出し合って献立を立て、協力して調理ができる。
- インターネットを活用して、材料を生かした献立を考える。
- 調理実習を振り返り、生徒や教師の気づきを出し合い、どうしたら良かったか意見を出す時間を確保する。



<深い学び>

- 振り返り
 - ・もっと効率的に、もっと栄養化を高めたりするために、どうしたらよいかを考え、意見を出し合う。
- アレンジレシピの宿題を出す。
 - ・家にある食材を使って、調理ができるようにする。
 - ・家庭と連携して実践力を育てる。(プリントを持ち帰り、保護者確認印や感想を記入)



- 長期休業を利用して、衣・食・住の実践ができるようにする。

評価の工夫

<サブティーチャーの役割>

- 4月当初に実態調査した結果から、個別の目標を設定し、各単元ごとに目標が達成できたかどうかを確認する。
- 授業毎に評価項目を設定して、サブティーチャーがその場で活動の評価をする。

教師用評価用紙	11月1日	実習名(きつねうどん)	まぐささん	まあるさん	実習者
1. 目標					
2. 学習の成果、ゆ子の学習一歩					
3. 準備					
4. 調理の準備					
5. 調理の実行					
6. 調理が終わる(両腕揃って1分中、戻り)					
7. 振り返り(振り返り)					
8. 振り返り(振り返り)					
9. 振り返りの振り返り					
10. 振り返りの振り返り					
11. 振り返りの振り返り					
12. 振り返りの振り返り					
13. 振り返りの振り返り					
14. 振り返りの振り返り					
15. 振り返りの振り返り					
16. 振り返りの振り返り					
17. 振り返りの振り返り					
18. 振り返りの振り返り					
19. 振り返りの振り返り					
20. 振り返りの振り返り					

成果と課題



<成果>

- スマホを使って、料理のレシピを検索して家庭で作った、という生徒の声を聞くことができた。
- アレンジレシピの宿題では、「家庭にある材料を使って作り、家人がおいしいと言って食べてくれた」という感想があった。

<課題>

- スマホやパソコンがなくて、ネットで検索できない家庭がある。
 - ➔料理の本(図書館で借りる)で調べて作る。
- 家庭の協力がなく、宿題を出してもやっとなかったり、コメントがない家庭がある。
 - ➔必ず提出するように伝え、何回か持ち帰らせる。